

神戸大学CMX創発医学講演会/大学院特別講義（先端医学トピックス）

主催：神戸大学メディカルトランスフォーメーションセンター

担当：橋渡し科学分野代謝疾患部門 小川 渉

連絡先：研究支援課 研究企画係（5189）

2025年8月19日(火)
17時00分～18時30分
大講義室(外来診療棟6階)



Zoom URL

<https://us02web.zoom.us/j/84553532610?pwd=K12MAiUYuWXaDte8yYxl1AbMRzdDZv.1>

ミーティング ID: 845 5353 2610

パスコード: 8tyv6w



Making and Breaking Muscles in Health and Disease

Assoc. Prof. Scott Bowen, Ph. D

School of Biomedical Sciences, Faculty of Biological Sciences,
University of Leeds

この度、リーズ大学生物医学科学部 生理学講座 准教授 Scott Bowen 先生 を
お招きし、CMX創発医学講演会を開催いたします。

Bowen 先生は、ドイツの Leipzig Heart Center (循環器内科)での5年間の
ポスドク研究を経て、2017年にリーズ大学で独立研究室を立ち上げられて以来、
骨格筋の萎縮・成長・再生を制御する分子機構の解明 に取り組んでこられました。
基礎実験モデルとヒト研究を組み合わせたトランスレーショナルアプローチを特徴と
し、とりわけ心不全などの心血管疾患患者を対象とした研究 (Wood et al.
Circ Heart Fail 2024; Espino-Gonzales et al., *JACC BTS* 2024)に加え
高齢者、大腿骨骨折、重症疾患など多様な集団においても研究されています。

その業績が評価され、2020年より欧州心臓病学会(ESC)予防心臓病学部会の
委員を務め、現在は心血管疾患患者におけるサルコペニア診療ガイドラインの
コンセンサスペーパーを主筆として刊行準備中です。また、筋萎縮研究の主要誌
Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle のアソシエイトエディター
として、学術界の発展にも大きく貢献されています。

本講演では、安静時および運動時骨格筋量の制御メカニズムを中心に、これらの知見
が各種疾患における筋萎縮の薬物治療最適化にどのように結び付くかをご紹介します。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。